

会員の横顔

●会員スロフィール Vol.13 ●法人会員 ル・ヴァン代表：篠田昭弘

ドアを開ければ、そこにはフランスが広がっている。



前橋けやきウォーク近く南町に、気軽にフランスワインとビストロ料理が楽しめるお店を2003年にオープンしました。お店の名前は「ル・ヴァン」フランス語でワインを意味します。高校卒業後、大阪あべの辻調理師学校のサービス科に入学し、レストランマネジメントや接客、調理等を学んだ後、地元前橋のホテルに就職しました。その後、東京高輪のレストランでソムリエのもととワインのノウハウを学び、ソムリエ資格を取得、地元前橋に再び戻りお店をオープンして今年で15年になります。

初めてのフランス旅行は24才の時、当時ヨーロッパに住んでいた友達とニコッ・ド・パリで待ち合わせをし、パリからマルセイユと一週間かけて刺激ある旅行をしたのを覚えています。当時はまだスマートフォンなどない時代、今考えたらよく一人でパリまで行けたなあと思います。お店を始めてからは3回ほどスタッフと一緒にフランスに行きました。カフェやビストロの食べ歩きをし、本場の気軽さのなかに適度な距離感を感じる絶妙なサービスや現地の人々や歴史が醸し出す雰囲気を感じました。

また、ワインナー巡りでは自分達の扱ひのある生産者を訪れ、温かみのあるおもてなしを受けました。ワインを大切に扱うことはもちろんのこと、生産者の思いが伝わるようなサービスを心掛けようと改めて思わせてもらいました。前は念願の三ツ星レストランのポール・ボキューズに行く事が出来ました。格式ある伝統と歴史、ひとつひとつ丁寧に作り込まれた料理など「三ツ星たる所以」を体感しました。「ドアを開ければそこにはフランスが広がっている」日常の中に非日常を感じてもらえるよう、自分たちが現地で感じた「フランス」をお店作り

に役立てています。同時に「食事」という他愛のない時間を少し上質なものにしてもらえたらとも考えています。フランスラジオが流れる店内でエスプリを感じながら料理に合わせたワインを楽しんでいただく。ルヴァンが皆様の日常に彩りを添える存在になれるよう日々の営業に臨んでいます。これからも地元群馬でフランスの雰囲気を味わえる。そして、皆様可愛れるお店を目指して頑張りたいと思っています。



Profile

協会レポート

●Vol.13 ●事務局 伊佐友理子

毎年1月、恵比寿にあります公益財団法人日仏協会主催の新年パーティーが、東宮御所のお隣「明治記念館」にて開催されています。

このパーティーは、例年日仏協会総裁であります常陸宮殿下・妃殿下のご臨席を賜り（本年は健康上の問題で残念ながらご欠席でした）一年に一度、全国の日仏協会理事が親睦を深める貴重な場となっています。

今年の開催は1月24日（水）で、当協会からは牛久保会長、植木副会長、松井副会長、梅津専務理事、紋谷常務理事、私の計6名で参加いたしました。

お写真は当協会理事の皆さんと、昨年より駐日大使に就任されましたロラン・ピック閣下（日仏協会名誉総裁）、日仏協会副理事長となりまして、

全国数多の日仏協会の中でその設立の経緯からも「群馬日仏協会」が特別な存在感を示しているのは、毎年こちらに伺うたび実感させられます。撮影時、人だかりになったのも納得でした。



余談ではありますが、こちらのパーティーの特筆すべき点は、集う皆様のそうたる顔ぶれだけではなく、お料理にもあると思っています。

品数の多さのみならず、素材選びから調理、盛り付けに至るまでの手仕事の多さや丁寧さは他のパーティーでは味わうことの出来ない素晴らしいものばかりなのです。

さて、平成30年は、日仏交流160周年の記念すべき年にして、当協会も9月には設立10年目を迎えます。現在、皆様の印象に残るような素敵なイベントを事務局一同計画でございまして、今後とも群馬日仏協会を何とぞ宜しくお願いいたします。



C'est la vie!

L'Association franco-japonaise de Gunma

●法人会員スロフィール Vol.13

(有)仲沢酒店

観音様の観音山のふもとに、厳選したこだわりの地酒・ワイン・焼酎を中心に取り扱う酒店です。ワインは生産者との交流も盛んに行い納得したものを定温コンテナで徹底的に管理輸入し、お客様に最高の状態でお楽しみいただけるよう店内ワインセラーとワイン貯蔵庫にて管理されています。

またワインスクール・高崎ワインアカデミーを主宰し、ワインの普及に積極的に取り組んでいます。店長は(株)日本ソムリエ協会(※)認定シニアワインアドバイザー・フランスワインコンセイエで、ワイン会や各種セミナー、バスツアー、執筆活動などワインだけではなく、日本酒等も積極的に開催し、多くの酒造元とも盛んに情報交換に努める酒店です。

370-0861 群馬県高崎市八千代町1-12-4
Tel: 027-323-1621 FAX: 027-326-2141
営業時間: 8:00 ~ 20:00 (水曜定休)
URL: http://www5.wind.ne.jp/NAKAZAWA/

MON CHERI スイーツの専門店モンシェリー

桐生で2店舗を持つスイーツの専門店です。現在の若き2代目シェフはピエール・エルメ パリでチョコレート製造部門の責任者やパリの人気店「パティスリー デレーヴ」で、巨匠フィリップ・コンティエーニに師事した実力者。

3年前に実家であるモンシェリーを継ぎ、フランス修業時代に身に付けた本場の巨匠のマカロンや新しい独自の新作スイーツも販売しています。

旬の季節の素材に合わせて、その季節ならではのスイーツを提供しています。

また、写真やイラストを特別な機械で印刷し「世界に一つだけの」プリントケーキも提供するなど、新技術も積極的に取り入れるスイーツ専門店です。

376-0011 群馬県桐生市相生町5-634 相生町本店
Tel: 0277-526-2244
営業時間: 10:00 ~ 20:00 (火曜定休)
URL: http://www.yogashi-moncheri.com/

(有)ギャラリーライム

国内の現代作家を中心に、版画作品の展示販売ネット販売 版画作品の企画展及び、オリジナル版画の制作販売をする版画専門の本格的なアートギャラリーとして創業。

近年は、何となく入りづらいといわれるアートギャラリーに主婦でも気軽に入ってもらいたいと、カフェスタイルのランチやデザートを提供したり、フランスや海外に積極的に旅をしながら見つけた珍しい版画やプリント、アンティークグッズ、アクセサリ、陶器を販売するなど、商品の幅を広げています。

何と言っても、魅力的な女性オーナーキも提供するなど、新技術も積極的に取り入れるスイーツ専門店です。

372-0025 群馬県伊勢崎市 東本町15-2
TEL: 0270-23-6124
営業時間: 11:00 ~ 17:00 (水曜定休)
URL: http://www.lime.typepad.jp/

コンヴィヴァリアリテ・イチノセ Convivialite Ichinose

フランス語で「幸せな食卓」を意味するコンヴィヴァリアリテを屋号に2010年にちょっと田舎にオープンした本格的なフレンチレストランです。

出来る限り群馬県産の食材にこだわる食材の力を引き出すフランス料理が、リゾート感溢れる、おしゃれなインテリア空間の店内で提供されます。

オーナーシェフは一年間渡仏後に、西麻布クイーンアリスオーナーシェフで、伝説の料理番組・料理の鉄人のフレンチレストラン・パッションにてオーナーシェフ、アンドレパッション氏などのもので修業を積んだ、本格的なフレンチ料理人です。

群馬県太田市只上町1321-1
TEL: 0276-49-5784
営業時間 12:00-14:00(L.O.) & 18:00-20:30(L.O.)
(日曜・第3月曜定休)
URL: http://www.convivialite-ichinose.com/

会員レポート

●Vol.13 ●一般個人会員 清水泰代

数々のイベントに参加して

娘のフランス留学と群馬日仏協会の設立時期が重なりフランスのことが知りたくて入会しました。

協会そして事務局の素晴らしい企画に参加する度に魅了されています。フランス大使館の素敵なインテリアとおもてなしの心、横須賀基地のパスポートを提示しての見学、数々の美術館めぐり、パン作り、コンフィチュール作り、フロマージュセミナー、ノエル会での素敵な音楽と日仏協会ならではの美味しいフランス料理、etc. 臨江閣でのクリスマスシャンバラク氏の講演は大変興味深く、今年も年賀状をいただいていた嬉しいかぎりです。昨年のグレースワイナリー訪問は私達の親しい友人サラ(パリに行くとお家に泊めていただく)がテレビ取材で訪れた三澤さんワイナリーでした。

いつも文化の香り高い沢山のイベントに参加させていただき、気づくと日々の生活がとても豊かに味わい深いものになりました。

フランス祭りで出会ったグランドの塩もまた不思議なご縁となりました。



2015年結婚した娘のお相手はグランド育ちのです。かわい孫ノエ(Noé)もすくすく育ち、フランスからのお客様(群馬の温泉が大気に入り)も増えました。遠く大西洋の潮グランドの塩を差し上げると塩おにぎりに、味噌づくりに、梅干しに、パンづくりにとファンが増え大人気なのです。我が家のNO.1プレゼント品になり、沢山のひとに喜んでもらっています。思ってもいなかったフランスが極めて身近に普段着として感じるので。ひとえに日仏協会、事務局のご努力の賜物で、心より感謝を致しております。

主人の高祖父は明治のはじめ世界遺産となった富岡製糸場の建設にかかわり、ブリュンサンからトランシットの使い方を教わったなど伝え聞いています。

明治の初めに祖先がフランスと交わり、いまフランスが孫の中にある。

長い時間の端にいてフランスと群馬の友好をはぐむ一員でありたいと思っています。



キクちゃんカフェ フランス日記 Vol.13

フランスの日曜日

皆さんこんにちは。パリのキクちゃんです。今年のフランスは、とても寒くて、パリにもたくさん雪が降りました。やっと春の訪れですね。

近年フランスでも多くなってきている花粉症など、いろいろ大変ですが、まずは暖かくなってきてありがたい。春はすばらしい。私は、パリに来てから、花粉症が軽くなりました。ありがたいです。

長い間、日曜日は休日。お店はお休み。日曜日は教会に行って、家族で過ごしましょう。としてきたフランスですが、このところ、日曜日営業の禁止を緩和しています。私がフランスに住み始めたころは、日曜日は、見事にすべての商店がお休みで、本当にびっくりしたものです。あれから17年、今では大手デパートは、日曜日営業していますし、近所のスーパーマーケットも、日曜日は午前中のみ営業しています。

歴史を紐解くと、ローマ帝国時代の西暦321年、コンスタンティヌス帝が「日曜日は休日」と定めて以来、日曜日はキリスト教の「安息日」としており、仕事をすることを長い間禁じていたのです。

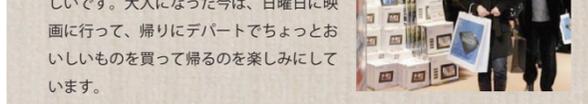
2,3年前から、パリのシャンゼリゼ通りや、マレ地区、地方では、ニースなどの観光地での日曜営業が緩和されました。この時点では、特別観光地区のみ、日曜営業を許可ということだったのです。昨年から、特別観光地区でない地区のデパートも日曜営業をしています。

さて、法律が緩和されても、労働組合との交渉が大変です。ある有名デパートは、「日曜出勤は平日出勤の2倍の報酬、代休も取得できる」という条件で解決したそうです。かなりの好待遇ですね。それだけフランス人にとって、日曜日に働くというのは大ごとなのです。

「日曜営業は社会的な後退」とも言われ、「労働者の収入は増えるけれども、経済社会システムの犠牲者になってしまう」との見方もあります。景気のテコ入れ問題、だんだん観光客が戻ってきているといっても、テロでダメージを受けたフランス経済。これもまたご時世ですね。

ちなみに、日曜営業は、地方自治体の許可が必要です。ブルターニュは今まで通り、年間3日間と決められた日曜営業日のみ営業です。フランス全体で日曜営業をしているわけではありません。

個人的には子供のころ、日曜日はデパートでおもちゃを買ってもらって、帰りにブリュンサンモードを食べるのを楽しみにしていましたから、デパートの日曜営業はうれしいです。大人になった今は、日曜日に映画に行って、帰りにデパートでちょっとおいしいものを買って帰るのを楽しみにしています。



岩岡基久乃 (いわおきくの)

2000年からフランス在住の日本人。南仏アンティープ市を経て、現在パリ17区在住。元大手電気メーカー勤務のキャリアウーマン。好きなものはシャンパーニュ、くまのめいぐるみ。鍼灸師の夫とフランス金土土を行動するさすらいの癒し系チャレンジャー。